

令和2年1月9日

インフルエンザの予防と治療薬

市民病院 健康講座



倉敷市立市民病院 薬局

Influenza Virusの種類

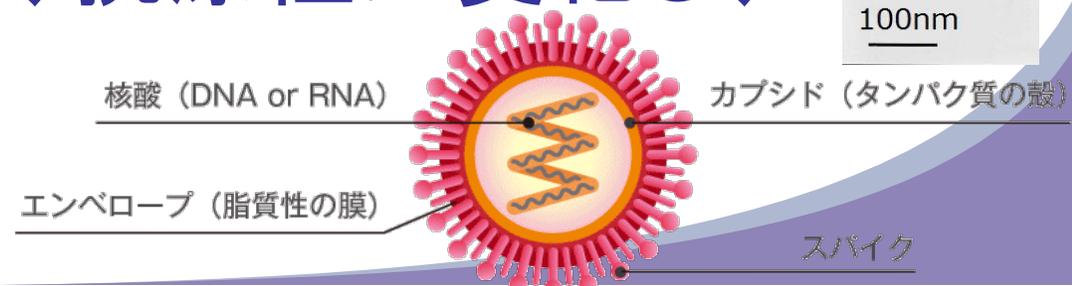
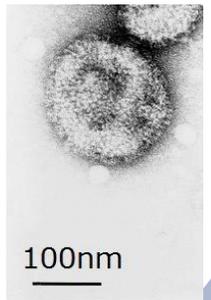
型	亜型	感染動物		
A型	H1~16 N1~9	HとNの組合せ で144種類	ヒト、鳥類(ニワトリ等) 、哺乳類(ウマ、ブタ等)	世界流行(パンデミック)
B型	ビクトリア系統 山形系統	ヒト		やや狭い範囲で流行
C型		ヒトのみ		地域に散発。季節によらず 4歳以下の小児に感染し、 遺伝子がほとんど変化しな いので、免疫が長期に持続 する。

○毎年流行を起こすウイルス⇒A型とB型

○パンデミックを起こすウイルス⇒A型のみ

なぜ毎年ワクチンが必要？

- ウイルス遺伝子は、突然変異を起こします。
- 同一亜型内での突然点変異によって少しずつ抗原性が変化することによって、人の免疫網を潜り抜けたウイルスが毎年流行する（連続変異または小変異）。
- 変異を起こす部位によって、感染性や病原性に変化を起こす。
- 小さな変異を繰り返すことにより、抗原性が変化し、大流行を起こすことがある。



タミフル

- カプセル・ドライシロップ（粉薬）
- 1日2回 内服 5日間継続
- 1治療あたりの薬剤費 2,678円(カプセル)
- 後発品 2018年9月発売
1治療あたりの薬剤費 1,297円
(カプセル)



⑨ 薬剤費は成人の通常用量から

リレンザ

- 吸入薬
- 1日2回 吸入 5日間継続
- 1治療あたりの薬剤費 2,890円



⑨ 薬剤費は成人の
通常用量から

イナビル

- 吸入粉末剤・吸入懸濁用
- 1回のみ吸入
- 1治療あたりの薬剤費 4,359円(粉末)



⑨ 薬剤費は成人の通常用量から

ラピアクタ

- 点滴
- 1回1回 点滴
- 1治療あたりの薬剤費
6,800円(バイアル)

⑨ 薬剤費は成人の通常用量から(1日量)



ゾフルーザ

- 錠剤
- 1回のみ 内服
- 1治療あたりの薬剤費 4,877円(体重80kg未満)
- 12歳未満の小児は積極的な投与を推奨しない



⑨ 薬剤費は成人の通常用量から

ご静聴ありがとうございました